



今一度担当制を考える

流れる日課とは

- + 一日の中で子ども達は、色々な行為をします。流れる日課とは、一人一人の子どもの行為と全体がスムーズに流れる。不必要に待つ時間がない、行為が中断されない事を意味します。
- + 流れる日課で生活している子どもは、自分はどのような行為をするのか、どんな活動をするのか分かっています。
- + 保育園の子ども達は流れる日課で過ごすことで、安心感や、落ち着いた雰囲気を提供します。それは、子どもがその場に適応することを助けます。

流れる日課の大切な視点

- + 大切な事は、一人一人の必要性、子ども達が何を要求しているかです。一人一人の要求を満たす事ができれば、個人的な接し方できていると言うことが、できます。
- + 保育者に求められていることは、個人を尊重し、丁寧に育児行為をし、子どもの主体性を育てることに、大きな意味があります。
- + 1) 子どものリズムにかなった一日の流れ
- + 2) 子どもの流れが前もつて見える。
- + 3) 子どもにとって生活の流れが決まっている。
- + 4) 一人一人の子どもにとって自然である。
- + 5) グループが流れるのではなく、個人が流れる
- + 6) 個人の要求を流れの中におく。
- + 7) 柔軟性を持つ事も大切。
- + 8) 園の条件の中で流れる。
- 9) 季節によっても流れは変わる。。
- 10) 思いつきで流れを変えるのではなく、理屈にあった変え方。
- 11) 育児と遊びがきっちりと組み立てられている。
- 12) ゆったりとした育児をしていくことが大切。
- 13) 個人の特徴を知る。

遊びの中での保育士の役割

+ 保育士が肯定的な存在としている。・・・保育士が見ていてくれる、全ての子どもは自立する力があるが、それらが引き出されるのは、自分に関心を持った保育士がいる時に可能となる。

1) 今子どもがしている遊び状況を見守りながら関わっていくことが必要。

2) 子どもがどうしているのか？つまずいていても、自分で解決できるかを見極めること。

3) 子どもがそれを自分で受入れるかどうか、選べるようなやり方をする。

遊びの中での保育者の役割

+ 子どもと一緒に遊ぶ

- 1) 自分から遊べない子どもと。
- 2) 子どもに呼ばれる・・・保育者がアイデアを提供する場合もあるが、どういう入り方が望ましいか。
- 3) 保育者がこどもをパートナーとして、視線を同じく接すること。
- 4) 子どもと遊ぶ事を楽しんで関わること。

遊びの中での保育士の役割

+ 子どもの活動に対して何らかの反応をする。

1) 見る・褒める・・・反応する（上手ね）だけでなくその行為を（ずいぶん長くつなげたね、どこまでいくのかしら）など具体的にほめる。

遊びの中での保育士の役割

+ 遊びの援助をする。

1) 新しい遊具を出す・・技術的な援助をする（助けてはあげるが、子どもの成功感を奪わないようにする。

2) 言葉で援助する・行為で援助する（子どもは援助を求めているが、忍耐強く見守っているだけのこともある。

例) 積木を積んでいる時・・子どもの解決を見守る。

遊びの中での保育士の役割

+ トラブルがあった時に援助を差し伸べる

1) トラブルはある程度事前に防げる。(遊具の量)

2) トラブルは処方箋はないが、保育者はどのように対応するかを、いつも見せていると、子どももだんだん受入れるようになる。

遊びの中での保育士の役割

+ アイデアを提供する（道具）

1) 新しい遊具

2) 新しい空間

3) アイデアを出す（子どもの実行可能なこと）

遊びの中での保育士の役割

+ 情報の提供

- 1) 絵本・本を読む・遊具について説明する・いじっているものについて知らせる。(虫・動物)
- 2) 子どもが関心を持っていること。
- 3) 子どもが理解できること。
- 4) 子どもの持っている経験から出発する。

遊びの中での保育士の役割

+ 遊ぶ中でのクラスのルールを伝える。

(保育士間の共通の認識に立っていること)

1) クラスにふさわしい振る舞いを伝えること。

☆習慣は人格をつくる。

☆声と言葉は、保育者の一番の大切な宝物です。